

明るく元気の出る町

平成10年8月1日発行・毎月1日 編集・発行／秋田県東由利町役場企画課

広報

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

1998 8

NO.521

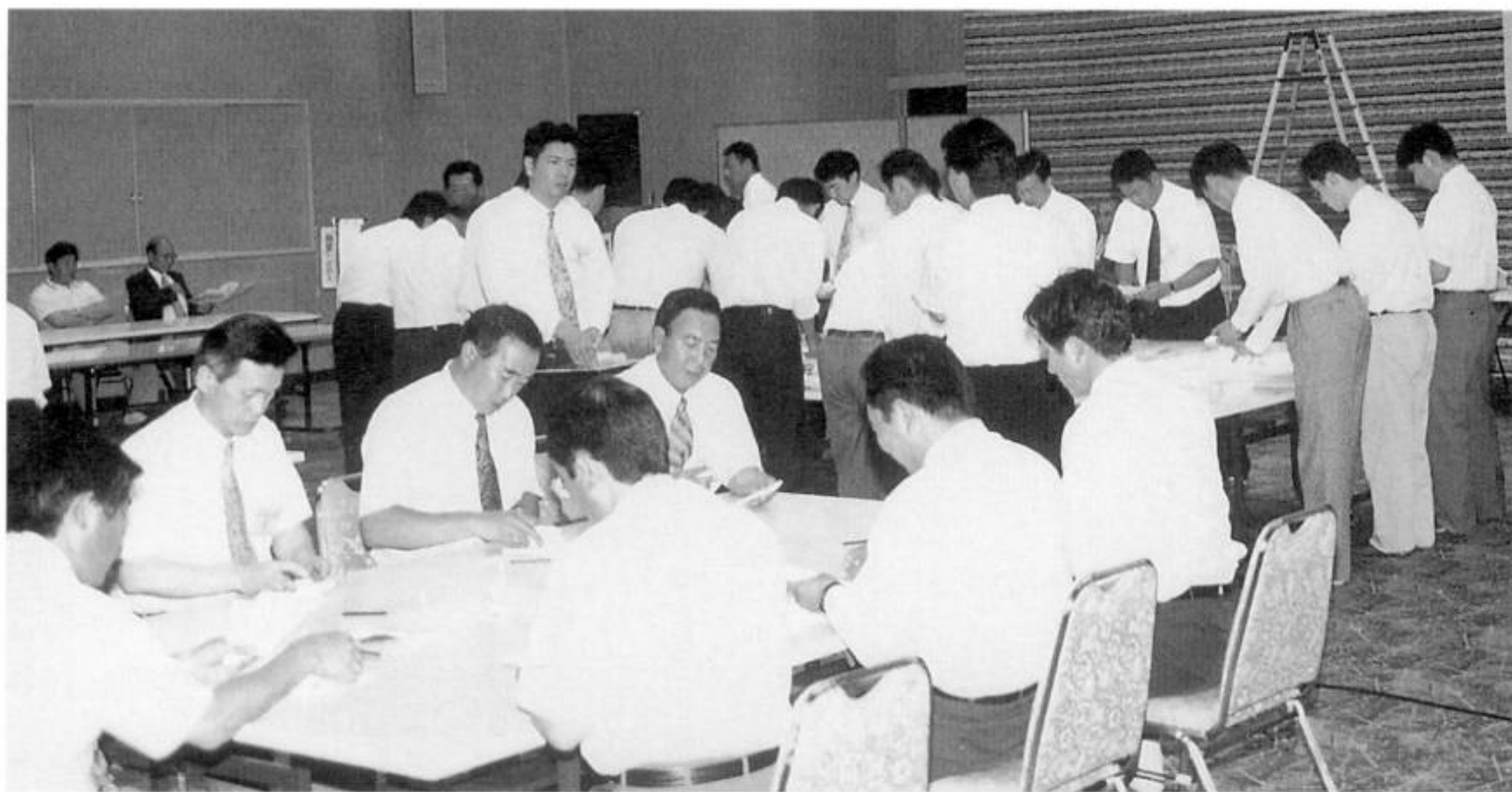
朴ノ木沢放牧場でのTV収録

(詳細は16ページ)



町イメージ
キャラクター
「モウ太くん」

参議院議員選挙本町投票率は72・14%



第18回参議院議員 通常選挙

投票時間 2 時間延長などでも 顕著な効果表われず

七月十二日、第十八回参議院議員通常選挙の投票が行われ、即日開票の結果、秋田県選出議員選挙では、自民党の新人斉藤滋宣氏が初当選を果たしました。本町の投票率は県選出・比例選出共に七二・一四%でした。

今回の選挙は、公職選挙法改正により投票時間が午前七時から午後八時まで（一部の投票区を除く）になり、従来午後六時までの投票時間が二時間延長され、同時に不在者投票の要件も緩和、投票率の低落傾向に歯止めがかかるものと期待されました。

また五十一年ぶりに六人が立候補、十五年ぶりに新人対決になった選挙戦でした。

本町の投票結果は、斉藤滋宣氏千四百七十六票、民主党の中島達郎氏五百十票、共産党の荻原和子氏四百三十票、社民党の工藤守氏三百九十八票、自由連合の橋元春男氏七十四票、新社会党の平元駿作氏四十八票という結果になりました。

また、比例代表選出議員選挙では、自由民主党千七百七十九票、続いて公明党四百二十五票、民主党三百三十一票、日本共産党二百九十四票等の結果になっています。

本町の各投票区別投票結果

投票区	有権者数	投票者数	棄権者数	投票率
第1 (黒淵)	321	221	100	68.85%
第2 (田代)	311	226	85	72.67
第3 (袖山)	154	119	35	77.27
第4 (館合)	875	607	268	69.37
第5 (松柴)	63	51	12	80.95
第6 (老方)	847	587	260	69.30
第7 (祝沢)	42	37	5	88.10
第8 (法内)	349	254	95	72.78
第9 (蔵)	587	439	148	74.79
第10 (黒沢)	70	57	13	81.43
第11 (大琴)	538	403	135	74.91
第12 (杉森)	72	50	22	69.44
計	4,229	3,051	1,178	72.14

本町の投票率は選挙管理委員会熱心な棄権防止への取り組みにもかかわらず、七二・一四%に止まりました。これは前回（平成七年）の七二・四六%を〇・三二%下回っています。

また、県平均投票率は六四・一%、由利郡各町の平均投票率は六八・九一%でした。

今回の結果について町選挙管理委員会では「公職選挙法改正後初めての国政選挙でしたが、投票所での投票者数二、八九三人中、午後六時以降の投票者数は一七三人（六%）で、投票時間の延長が直接投票率の向上に結び付いたか疑問が残る」としています。

また、不在者投票者数は一五八人で、不在者投票事由の緩和や手続きの簡素化が図られたことにより、前回（九七年）より大幅に伸びています。

第五回 議会臨時会

六月三十日招集

第五回議会臨時会が六月三十日に招集され、農業集落排水緊急整備事業の工事請負契約の締結など八件を原案どおり可決しました。

■主な議案■

▼議案第一号 平成十年度一般会計補正予算

七千九百三十八万六千円の追加で、歳入歳出予算の総額は四十三億七百三十九万六千円です。

▼議案第二号 平成十年度簡易水道事業特別会計補正予算
七十四万五千円の追加で、歳入

歳出予算の総額は三億七千五百十四万一千円です。

▼議案第四号 農業集落排水緊急整備事業工事請負契約の締結について

第六回 議会臨時会

七月二十三日招集

第六回議会臨時会が七月二十三日

日に招集され、基盤整備促進事業小田地区第四一三〇一号工事請負契約の締結など二件を原案どおり可決しました。

また、各常任委員会、議会運営委員会、広報特別委員会を次のとおり構成しました。(敬称略)

●総務常任委員会

◎高沢忠 ○佐々木長円

小松義嗣 小野健 畠山作四郎

●教育民生常任委員会

◎佐藤智治郎 ○中西蔵之助

工藤実 鈴木和夫 小松悌之助

●産業建設常任委員会

◎畑山作喜 ○小松久徳

佐藤萬一 佐藤十内 梅津栄一

●議会運営委員会

◎小松悌之助 ○高沢忠

佐藤智治郎 畑山作喜

佐々木長円 梅津栄一

●広報特別委員会

◎佐々木長円 ○小松久徳

小松義嗣 工藤実 小野健

(◎委員長 ○副委員長)

町功労者 阿部廣雄氏ご逝去

本町杉森出身で、東久留米市在住、町功労者の阿部廣雄氏が七月六日ご逝去されました。享年七十七歳。

氏は昭和二十二年農林省に入省し、五十六年に退官するまで、同省農業技術研究所経営土地利用部



養畜研究室長、同省東北農業試験場農業経営部長などを歴任され、農業経営研究の指導に当たられるとともに、農業関係学界にも参画、多くの研究論文、著述をとおり、わが国農業経営の発展に貢献されました。

また、昭和三十七年に東京大学から農学博士の学位を授与され、昭和五十七年には東由利町功労者表彰を受けられています。

故人のご冥福をお祈りいたします。

町長日記

八塩いこいの森起工式

七月十日に八塩地区整備事業の起工式を執り行いました。今回の起工式は、林業地域総合整備事業でのトイレ建設工事や中山間事業での給水施設整備事業が始まるのに合わせての式であります。

八塩地区では現在様々な事業が進行中です。まず八塩ダムの底樋の改修事業が、本荘市東由

利町土地改良区の事業主体で平成十二年度完成を目指して進行しております。

また県道からダムの提体までの道路の整備が、林業地域総合整備事業で昨年度から二カ年事業として進行中であり、バスも交差できる道路になります。

肉用牛草地団地の関係者にお願いをして草地の利用を「八塩いこいの森」整備事業に提供していただきましたが、約七ヘクタールの面積にオートキャンプ場はじめ野外広場、駐車場などを作ることにしております。

この事業の完成は十三年度に

なりますが進行中に、来年度の県植樹祭をやれないかとの打診がありました。まだ完成には時間がかかることですから多少逡巡したのでありますが、丁度きりのいい第五十回にあたる植樹祭になりますし、いつかは全県の皆さんにこの「八塩いこいの森」を、また自慢の「黄桜」を見てもらいたいと思っていまして、整備中を承知で多少の会場混乱を勘弁してもらえなれば、とお引き受けしたのであります。

そういうやり取りをしているときに、日本桜の会から今年度

の桜功労賞を町に授与すると云う連絡があつて、四月三日の桜満開のなか東京憲政会館で表彰を受けたことはご報告申し上げました。そのときの副賞となります八重桜黄桜五百本をこの来年度の第五十回県植樹祭に使おうと思つているところであります。オートキャンプ場や広場整備の周辺にこの桜を植えていこうと思つています。

起工式当日「八塩いこいの森」は昭和三十七年に八塩ダムが完成し、その周辺に桜を植え始めてから約三十五年にもなり、いまこのように評価されるように

なりました。これからまた三十五年もかかればや々と先輩の皆さんが植えたこの桜の木のようになります。その時は、我が町のみならず鳥海山系の「八塩いこいの森」として、また秋田県の大きな財産になつていくことを志しての計画でもあります」とご挨拶申し上げたところであります。

広大な八塩山一帯が森林レクリエーションの場に、そして緑と水と花の一大拠点になつていくように心から祈念いたしました。

着々と進む八塩地区の整備事業

野外活動の拠点として早期の完成目指す



教育文化活動の場として期待かかる

昨年度から造成工事を展開している八塩地区。

七月十日に、八塩いこいの森駐車場や工事関係者など七十名余りが参加、八塩地区整備事業の起工式が行われました。

この起工式は、七月から林業地域総合整備事業でトイレの建設工事、中山間地域総合整備事業で給水設備工事に着手するのに合わせて、行われたものです。

神事では、阿部幸悦町長をはじめ、関係者による鍬いれの儀式を行い、工事の安全を祈願。

起工式では阿部町長が来年の植樹祭にふれながら、「東由利町の八塩から、鳥海地区としての八塩、秋田県としての八塩へと、将来を見据えながらの事業である。また、この八塩地区のダムが出来てから三十数年が経過している。今後三十数年後、八塩の姿を想像しながらの計画である」と挨拶しました。

この事業は、約二十五ヘクタールの広大な八塩いこいの森北東部の約六・五ヘクタールを、森林レクリエーション

や教育文化活動の拠点にするために計画されたもの。

整備計画では、車約三十台が収容できるオートキャンプ場をはじめ、各社イベントなど皆が楽しめる野外ステージ、広場、コインシャワー、コインランドリーなどを備えたセンターハウス、家族単位で楽しめるパークゴルフ場などが予定されています。

現在、工事のためご迷惑をおかけしていますが、早期の完成を目指し急ピッチで工事が進行しています。ご理解のほどよろしくお願いいたします。



▲7月10日に行われた八塩地区整備事業起工式



八塩地区整備事業 主な計画内容（予定）

◆センターハウス

管理棟、売店、コインシャワー、コインランドリー、自動販売機、公衆電話などがあります。キャンプ用品のほか、自転車（MTB）や、パークゴルフ用品なども借りられます。

◆テントサイト

オートキャンプ場（三十区画）と八塩湖を望む山の斜面の林

間サイトがあります。林間サイトはきざくらゾーン、つつじゾーンに分かれています。

◆野外ステージ

各種イベント、フィルムコンサートなどに利用できる野外ステージです。

◆野外広場

バトミントン、ボールゲーム、フリスビー、各種スクールなどみんなで楽しめる芝生広場です。

◆ワンパク広場

芝生の上で親子がくつろげる

広場です。

◆パークゴルフ場

家族単位で、友人で、年齢を超えて気軽に楽しめるパークゴルフが専用コースで楽しめます。

◆昆虫生態園

ナラ、クヌギなどの昆虫や小動物の自然生態系を観察できる自然ゾーンです。

◆せせらぎゾーン

八塩ダム湖からの流水で水遊びができる小川です。

「山紫水明の里づくり」

老方館合農業集落排水事業の通水式行われる

七月三日、老方飛鳥田地内の老方館合地区処理場において、関係者五十余名が参加し、農業集落排水事業通水式が行われました。この通水にともない、老方地区の一部、約二百三十戸が同排水施設への汚水流入可能になりました。

通水式では、町長式辞、議長挨拶、その後参加者の拍手の中、関係者によるテープカットが行われました。

施設内覧会では、最新の設備に参加者はしきりに見入っていました。



▲当日、関係者によるテープカットが行われた

「陸の灯台」黄桜の里

手づくり郷土賞（建設省選定）受賞

七月十五日、仙台市勾当台会館において、本町「陸の灯台」黄桜の里が平成十年度手づくり郷土賞を受賞しました。同賞は、公園などの整備にあたり、地域の個性を生かし、創意工夫していると認められた事業が表彰を受けているもの。本年度は県内で本町が選ばれています。

道の駅として地域住民の生活利便、国道利用者へのサービスはもちろんのこと、陸の灯台としてシンボル塔を設置したことなどが高く評価されたものです。



▲手づくり郷土賞を受ける阿部幸悦町長



炎天下、白熱した競技が展開 平成10年度消防訓練大会

総合優勝は昨年に続き第1分団（斎藤眞一分団長）

規律では第4分団、ポンプ車では第1分団1班、小型ポンプでは第5分団2班がそれぞれ第1位



▲ポンプ操法では炎天下白熱した競技が展開した



▲規律訓練ではどの団員も真剣だった



▲災害時には婦人消防隊の協力が大きな力に

七月十九日、雲一つない快晴の空のもと、げんき館駐車場において、平成十年度消防訓練大会が行われました。当日は消防団員、婦人消防隊、関係者など三百人あまりが参加しました。

開会式では、畠山勉消防団長が、「災害は忘れたころにやってくる。日頃の訓練が大切」、「団員は各々本業を持っているが、奉仕の精神で取り組んでほしい」と訓示を行いました。また、阿部幸悦町長は「日頃の訓練の成果を発揮し、競技にとりくんでほしい。町民はみなさんの活動を心の支えにしている」と団員を激励する告示を行いました。

いかに迅速かつ確実な火災防御を期することができかなど、日頃の訓練成果が発揮されるだけに、各分団ともに炎天下のなか、本番さながらの白熱した競技を展開しました。

競技は五分団が出場した通常点検および小隊訓練、二班が出場した自動車ポンプ操法、十四班が出場した小型ポンプ操法で各々競われ、その総合成績により総合優勝分団が決められます。

競技終了後、審査員採点結果、総合で第一分団が二年連続優勝、自動車ポンプ操法で一分団一班、小型ポンプ操法で五分団二班がそれぞれ優勝しました。

なお、今回の優勝分団は八月一日に行われる本荘市由利郡消防訓練大会に出場します。各部門での健闘が期待されます。

訓練大会成績結果

（ ）内は指揮者・敬称略

■総合の部■

一位 一分団（斎藤眞一分団長）

二位 五分団（佐々木徳昭分団長）

三位 四分団（小笠原慶悦分団長）

■規律訓練の部■

一位 四分団（小笠原慶悦）

二位 一分団（斎藤眞一）

三位 五分団（佐々木徳昭）

■自動車ポンプ操法の部■

一位 一分団一班（長谷山肇）

二位 二分団一班（佐藤貴志）

■小型ポンプ操法の部■

一位 五分団二班（佐々木善永）

二位 五分団一班（梅津正明）

三位 五分団三班（畠山和雄）

笑顔あふれる団地「サンガーデン大琴」



大琴分譲宅地名称決まる

十月二十日の工事完成を目指して、着々と工事が進む大琴地区分譲宅地整備事業。

七月二十日現在の進捗率は、五〇パーセントで、給排水工が完了し、現在側溝工が進められています。今後は、道路工、盛土工が進められます。

町では、この団地の名称選考にあたって、地域名称等に精通しており、完成後の団地の母体となる大琴自治会の方より提案をいただきました。提案は合計で九十三件（重複分を除くと七十三件）のものがあり、事業に対する期待と、関心の高さがうかがえました。

これを受けて七月十七日には名称選考会が「お食事処やしお」で行われました。選考会の委員は十五名で、議会関係者及び周辺自治会長、建設技能組合長に加え、全町各地域の若い女性の方々が参加しました。

会議では、委員の提案を加えて七十七件が選考の対象となりました。和やかな雰囲気中にも女性の積極的な意見が目立ち、位置の分かりやすさや、若い世代へのアピール度などを基準に絞り込み、三つの案を候補として町長に進言しました。

会議の進言を尊重して町長は、最終検討を行い、名称を「サンガ

ーデン大琴」に決定したものです。提案者は、高橋敦子さん（宇戸坂）です。高橋さんは提案について「イメージは太陽の庭です。みんなが集まる庭をイメージしました。家族も大琴にかかわりがあり、大琴団地に以前から興味をもっていました」と話していました。

今後は、販売に向けて価格の検討などが進められます。



△7月17日行われた名称選考会

高館山と遊ぶ会の頑張り

大琴地区の有志で構成する

「高館山と遊ぶ会（佐々木雅廣代表）」では、昨年より宿大琴地区をはじめ、八塩山や鳥海山が一望できる高館山の環境整備に取り組んでいます。

今年度は、登山道の改良および休憩広場の整備を行い、将来的には頂上へのあずまや建設や、新たなルート開設を検討しております。

会では、帰省客が多数訪れるお盆までには、今年度事業を完成させたいと考えており、帰省の際は、登りやすくなつた高館山にぜひ足を運んでほしいと話しております。

町では、分譲宅地整備と同時に進行している同会の取り組みを、今年度からスタートした「明るく元気の出る活動支援事業」の対象として認定し、元気の出る補助金により応援することとしております。

この夏、高館山から大琴分譲宅地を眺めてみませんか。登山道入口は、国道一〇七号から大琴小入口交差点を大台方向に進むと、間もなく右側に白い標柱があり、この交差点を右に進んでください。

畜産共進会で3年連続 郡内団体総合優勝飾る

第一回
秋田しんせい
農業協同組合
畜産共進会

好天に恵まれた七月十七日、本
庄市広域由利家畜市場構内で、第
一回秋田しんせい農業協同組合畜
産共進会が行われました。

今回の共進会は昨年度まで行わ
れていた由利畜産共進会から秋田
しんせい農業協同組合畜産共進会
に名称変更して一回目の共進会で
した。また、本年度は残念ながら
県畜産共進会は開かれなかったため、
今回の畜産共進会が今年最後の大会
です。

本町からは六月の町畜産共進会
で上位入賞した牛から十九頭（肉
用牛十三頭、乳用牛六頭）が出陳
されました。日頃の努力成果が集
大成される大会だけに、畜産農家
の皆さんは真剣。炎天下の中で進
行する審査を見守っていました。
肉用牛八部門、乳用牛三部門で
の審査結果では、肉用牛で「きた
ぐに2」（庄野高光・五海保）、
「第2はつみどり7」（遠藤民一
郎・新旭）が優等賞、部門別でも
肉用牛の部で優勝、また団体総合
成績も三年連続で優勝を飾るな
ど、畜産の町、東由利町の名をと
どろかせました。



▲肉用牛で秋田県知事賞の「きたぐに2」

粒ぞろいの由利牛、資質競い合う

わが町の指標 6回

◆第一次産業就業比率・五位◆（三一・五％／八百九十八人）

■参考■

一位（大潟村：七九・四％／一千五百七十七人）

六十九位（秋田市：二・六％／三千八百九十七人）

※平成七年国勢調査報告より

第一次産業（農業、林業、漁業）に従事する就業者の全就業者に占める割合をいいます。

◆農家人口比率・十五位◆（六九・五％／三千八百五十人）

■参考■

一位（大雄村：八〇・六％／四千九百二十四人）

六十九位（秋田市：六・一％／一万九千六百六十五人）

※平成七年国勢調査報告、一九九五年農業センサスより

農家人口（農家の世帯員数）の総人口に占める割合をいいます。

◆農家世帯比率・十七位◆（五九・一％／七百九十三戸）

■参考■

一位（大雄村：七四・〇％／一千二百一十一戸）

六十九位（秋田市：三・八％／四千三百四十二戸）

※平成七年国勢調査報告、一九九

五年農業センサスより
総世帯数（非農家を含む）に占める農家世帯数（戸数）の割合のこと
で、農家率とも呼ばれています。

◆専業農家比率（販売農家）・五十一位◆（四・九％／三千八百六十戸）

■参考■

一位（大潟村：六六・八％／三百七十四戸）

六十九位（由利町：二・五％／十七戸）

※平成七年国勢調査報告、一九九五年農業センサスより

農家世帯員の中に専業従事者が一人もいない農家を専業農家といい、専業農家比率とはその農家戸数に対する割合です。

◆一農家当たり経営耕地面積・二十位◆（二・七／一千三百四十八ヘクタール）

■参考■

一位（大潟村：一六・二／九千二百二十八人）

六十九位（山内村：〇・七三％／五二八ヘクタール）

※一九九五年農業センサスより

所有権にかかわらず借入地も含めて自分の家で耕作しているすべての土地をいいます。

秋田県統計協会発行「わがまちわが町の指標」より抜粋して紹介しています。

畜産共進会入賞結果

(東由利町関連)

【団体総合】

優勝【3年連続優勝】

東由利町 (520点)

準優勝 矢島町 (450点)

3位 鳥海町 (350点)

【部門別団体賞】

●肉用牛の部

優勝【3年連続優勝】

東由利町 (380点)

●乳用牛の部

3位 東由利町 (140点)

【秋田県知事賞】(出陳者敬称略)

●肉用牛若牛1区

きたぐに2 (荘野高光/五海保)

【優等賞】(出陳者敬称略)

●肉用牛若牛1区

きたぐに2 (荘野高光/五海保)

●肉用牛成牛2区

第2はつみどり7 (遠藤民一郎/新処)

畑山さん、全和登創立五十周年記念表彰受ける

六月十八日、京都府全国和牛登録協会ビルにおいて畑山清一さん(下吹)が同協会から表彰を受けました。県内では三人が表彰されたもの。

畑山さんは昭和四十四年から現在まで、長年由利畜産農業協同組合役員として活躍、また地域の和牛改良においてもリーダー的存在で、和牛改良と技術向上に練磨されたことが表されたものです。



▲喜びの畑山清一さん

携帯電話で一一九番通報する前に・・・

七月十七日から東由利町で携帯電話が使用可能になったことに伴って携帯電話で一一九番通報ができるようになりました。しかし、本荘市、由利郡内からの通報は、すべて秋田市消防本部が代表で受信し、本荘、矢島、仁賀保地区の消防本部に転送する仕組みになっていますので、通報する時は次のことに配慮してください。

一、移動しながらの通報は会話がとぎれることがありますので、停車、または立ち止まって通報してください。

二、通報を受けた秋田市消防本部では、救急・火災現場の正確な場所を聞きます。必ず最初に本荘市、岩城町、東由利町などの市町名を言ってください。地名が不明なときは、付近の目標になる建物

や地名を表す道路標識などを付け加えて下さい。

三、転送後、出動する消防本部と直接通話できます。場所などについては再度同じことを聞かれますが、出動するために必要なので、できるだけ詳しく知らせてください。例「けが人〇名で、声をかけても返事をしません」「住宅の窓から炎が出て、逃げ遅れた人がいます」

四、通報しているあなたの名前と、携帯電話などの番号を忘れずに言うってください。

五、できるかぎり、携帯電話の電源を切らずに救急車などが現場に着くまで待っていてください。

問い合わせは消防本部通信指令室(二二一〇〇一一)まで



東由利・成立

区分	頭数	平均体重	平均価格	Kg当単価
去勢	19	309kg	420,387	1,295
雌	16	276kg	281,728	976
合計	35	294kg	357,000	1,123

●最高金額 去勢 529,200 北国7の8 城芳14 福谷1
●最高金額 雌 383,250 北国7の8 菊安 宮桜

七月家畜市場

木材共販市況

径級	単価(石)	備考
直材30cm上	—	
同24~28cm	4,800~5,000円	
同14~22cm	4,500~4,700円	
同13cm下	2,200~2,800円	
曲り材	2,000~3,000円	

(平成十年七月・平均価格)
四五年生・五五年生

林業だより

二十一世紀の林業

一九九二年にベルリンで開かれた国際林学試験研究連合の記念大会でミュンヘン大学のホルストン・シュルツ氏は、木材利用の歴史について、一八五〇年までを「木材の代替品がない時代」、それから二〇〇〇年までを「木材が他の資材で代替される時代」、二十一世紀から先を「こうした代替が困難になる時代」とする三局面の理論を報告しています。つまり、二十一世紀には再び木材への依存度が高まるといふ事です。

この理論がなるほどと頷けるのは、地球温暖化が世界的に問題化してきた事です。昭和三十年代以降、化石燃料(石炭・石油)の使用が多くなり、非木質系材料が木質系材料に代替されてきました。そして二酸化炭素の排出量が多くなり、地球温暖化が進んだのです。

林野庁では、森林育成による二酸化炭素の吸収の増進と木材製品の利用促進を課題にして、二酸化炭素排出量の削減に取り組む方針です。

(町林業懇話会会長

佐藤恒悦氏)

町職員採用試験を実施します

町では平成11年度採用職員の試験を次により行います。受験希望者には申込用紙、受験案内を差し上げますので、役場総務課（☎69-2110）にお問い合わせください。

■職務内容 一般的な行政事務に従事

■採用人員 若干名

■受験資格 昭和48年4月2日～

昭和56年4月1日までに生まれた者

■試験内容 高校卒業程度の
一般的知識についての筆記試験

■受付期間 7月27日～8月25日

■第一次試験日 9月20日（日）

■試験会場 秋田市・秋田経済法科大学
（総務課）

町ゴルフ大会結果

七月二十日、町ゴルフ協会が開催している町民ゴルフ大会が、羽後カントリークラブを会場に行われました。

青空が広がる絶好のゴルフ日和の中、四十名余りがゴルフに興じました。当日の結果は次のとおりです。

優勝 佐藤 勝（五海保）

準優勝 渡辺 仁（時雨山）

第三位 大沼孝昭（蔵新田）

ベストグロス 大沼武且 82（蔵）

佐藤 謙 82（館西）

レディース

優勝 齊藤利和子（新町）

準優勝 小松由子（上通）

本荘由利地区青年アクティ ブセミナー参加者募集

平成十年度も本荘由利地区青年アクティブセミナーが開催されています。

このセミナーは学習や交流を通じて、二十一世紀の豊かな郷土づくりを担う人材の育成を図るべく、県内青年を対象に毎年行われているものです。

何度かのイベント講座学習を経た後、最終的に本荘文化会館において、セミナー参加者によるイベント開催を目標としています。七月十日には「地域活性化のためのイベント」と題した講話、八月一日には他地区でのイベント視察などが行われています。

詳細は公民館にお問い合わせ下さい。

児童扶養手当・ 特別児童扶養手当のお知らせ

■児童扶養手当■

父母の離婚などにより、父と生計を同じくしていない児童、または父が障害者である児童に対して、その家庭の生活の安定と自立に役立つよう手当を支給し、児童の福祉の増進を図ることを目的とした手当です。

●手当の支給要件

十八歳までの児童、または二十歳未満で中程度以上の障害を有する児童がいる母や養育者。ただし、老齢福祉年金以外の国民年金、恩給、厚生年金などの公的年金を受けることができる人には、手当が支給されません。また日本に住所がない場合は手当は支給されません。

●手当月額（平成十年四月一日現在）

児童一人（全部支給者） 四二、一三〇円
（一部支給者） 二八、一九〇円

児童二人（全部支給者） 四七、一三〇円
（一部支給者） 三三、一九〇円

児童三人目以降一人増加することに三、〇〇〇円加算。

●所得の制限

受給資格者や扶養義務者の前年分の所得額が、政令で定める額以上であるときは、その年の八月から翌年の七月まで手当の一部または全額が支給されません。

●請求の手続きと手当の支払い

児童扶養手当は受ける権利があっても、申請しないと受給できませんので、次の添付書類と共に申請書を提出してください。

ださい。

- ・請求者と対象児童の戸籍謄本または抄本
- ・世帯全員の住民票の写し
- ・公的年金証書の写し
- ・請求者名義で、支払いを希望する金融機関の通帳写し（郵便局除く）
- ・その他必要書類

手当は請求した日の属する月の翌月分から支給されます。

支払いは四月、八月、十二月の年三回、支払月の前月までの四カ月分が請求者の希望した金融機関の口座に振り込まれます。（支給月の支給日が、日曜もしくは土曜日、または休日にあたる場合はその日の直前の日が支給日）

■特別児童扶養手当■

精神または身体に障害のある二十歳未満の児童について、児童の福祉の増進を図ることを目的として支給される手当です。

●手当の支給要件

手当を受けることができる人は、児童を監護する父、もしくは母または父母にかわってその児童を養育している人です。ただし、児童が福祉施設等に入所している場合や、障害を事由として公的年金を受けることができない場合は支給されません。

※両手当について、

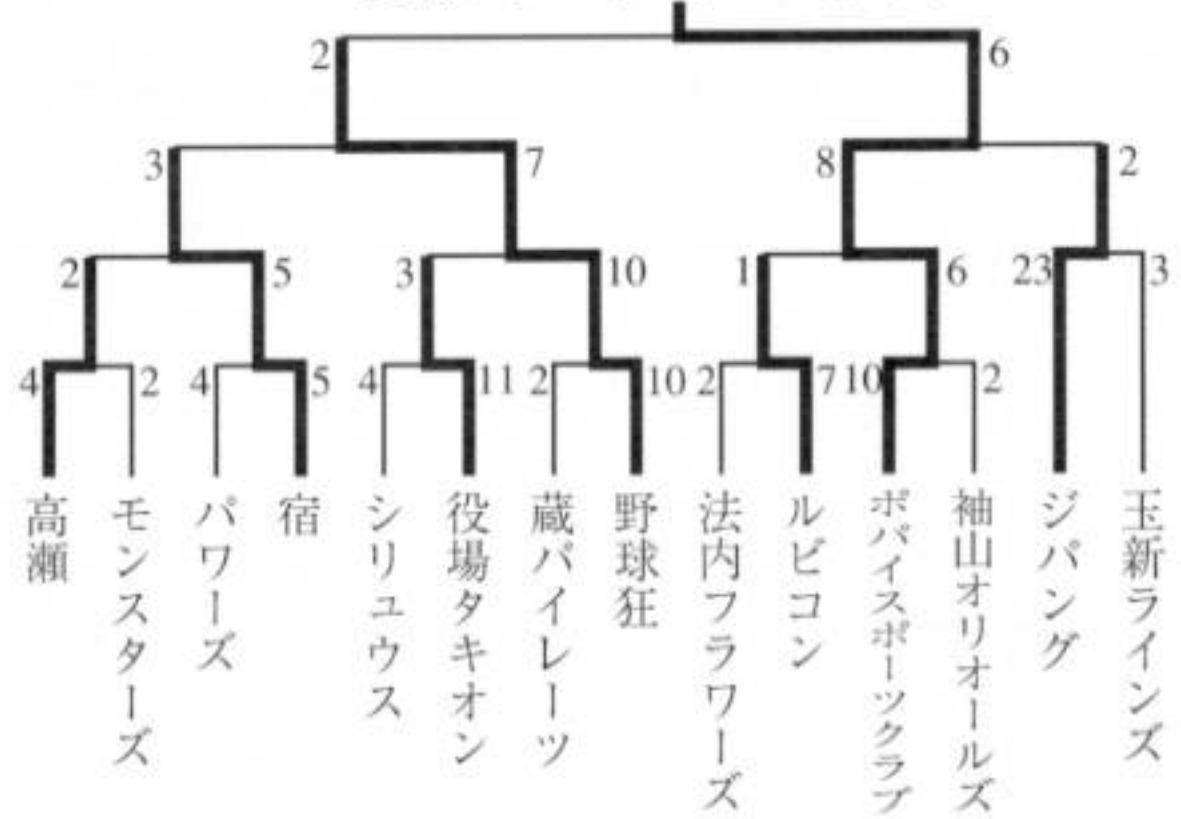
詳しくは町民課町民係（六九―二二一七）の窓口まで。



夏・野球の季節

第7回ナイター野球大会結果

優勝 ポパイスポーツクラブ



交通死亡事故ゼロ千五百日目指し

死亡事故ゼロ、千日達成



▲県警本部長名での顕彰状を受け取る阿部町長

六月二十五日に、交通死亡事故ゼロ千日を達成した本町。七月八日には県警本部長名で町に顕彰状が贈られました。町では、小学生が交通安全看板、ポスターを制作するなど事故防止運動を展開しています。また同時に、高齢者家庭訪問指導員の交通安全指導の委嘱状も交付されました。

阿部町長はこれを受け「次の目標千五百日を目指し、今後とも交通安全運動を展開していきたい」と話しています。

大沼組五度目の優良表彰

第十九回県優良工事表彰



▲役場に表彰報告に訪れた大沼社長

七月十日、秋田市において第十九回秋田県優良工事の表彰式が行われました。

この席上、(株)大沼組が秋田県優良工事表彰を受けました。また、この表彰は大沼組にとって五回目の表彰でもあり、同時に特別表彰も受けました。

今回対象となった工事は八塩地区のため池等整備工事。現場条件を十分に勘案した施工計画で、円滑な工事施工を図ったことが優良だと認められたものです。

自然環境を守る役割担って

河川愛護協会総会



▲河川愛護協会総会の模様

七月二十二日、河川愛護協会総会が有鄰館で開かれ、関係者三十余名が出席しました。

席上小松久男助役が「昨今、自然環境を守るこの意味が問われている。このような社会風潮の中で、河川愛護協会の果たす役割は大きい」と挨拶しました。

総会では、平成九年度の協会決算報告、平成十年度の事業計画など話し合われました。また、任期満了にともなう役員改選では、阿部和雄氏が再選されました。

山紫水明の里は河川から

全町一斉河川清掃



▲宿河川公園でも地区の方々総動員で清掃が行われた

山紫水明の里づくりはまず、河川の浄化からと、七月十九日全町一斉河川清掃が行われました。

町内の各河川敷には早朝にもかかわらず、自治会単位でたくさんの町民の方が参加、様々なゴミや木片など迅速に回収していました。作業後の河川は見違えるほどきれいになっていました。

また、宿河川公園では、地区だけでなく、訪れる皆さんが少しでも快適に過ごせるようにと、日中も作業を続けていました。

町のあっち、こっちから

自然の中、友情深めあう

少年自然教室



▲行事を通じて他校児童との交流を深めた

七月二十三日、町の小学六年生を対象にした少年自然教室が八塩いこいの森キャンプ場を中心に行われました。

自然の中でお互いの友情と親睦を深めようと毎年行われているこの教室、今年は五十五名の児童と、関係者が参加しました。最初他校との交流にとまどいを覚えていた児童たちも、初日の追跡ハイキング、テント立て、炊飯、キャンプファイヤーを通じて交流を深め、二日目の八塩登山では、みなが一

水に親しみ自然豊かさ実感

八塩小学校、水辺の教室



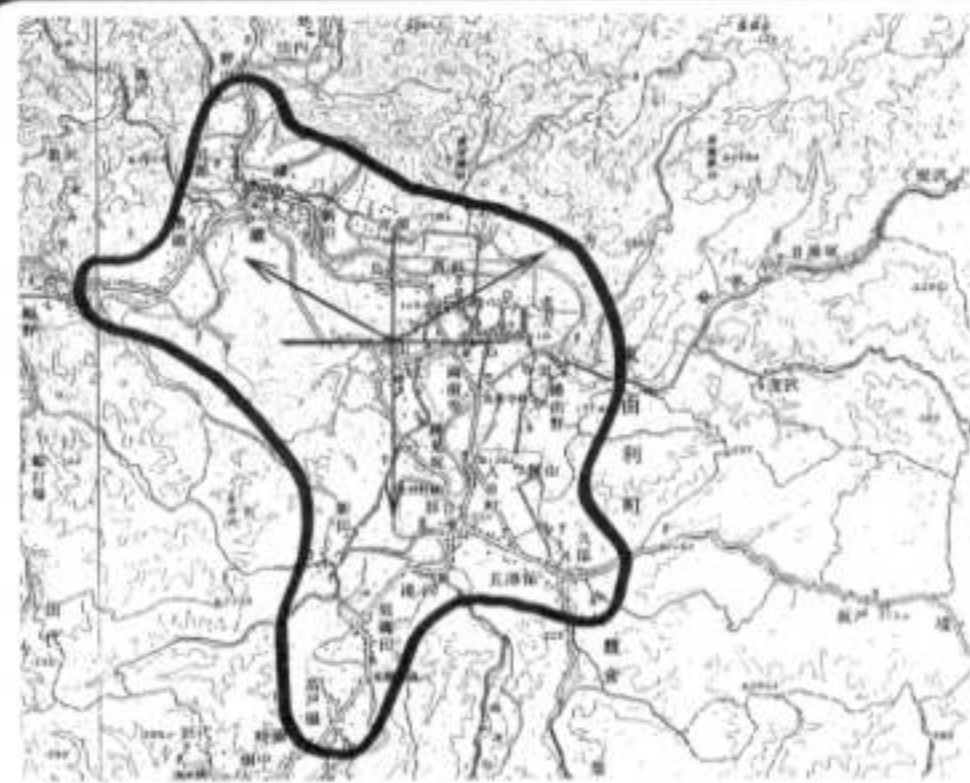
▲児童らは水に親しみながら教室に参加した

町の川および水生生物について学習し、郷土の自然を大事にすることを育てようと、八塩小学校で毎年行われている水辺の教室。本年度も七月十四日、四年生以上の児童および先生など六十余名が参加しました。

梅雨の合間、絶好の空もようの中、参加した児童たちは、歓声をあげながら、日頃見慣れた川に入り、日頃見慣れない生物を採集するなど、自然の豊かさ、町の環境の良さを感じていました。

町で携帯電話が繋がります

携帯電話基地局供用開始



▲東由利町の主なサービスエリア図

七月十七日から、町でもNTTドコモによる携帯電話基地局の供用が始まり、携帯電話の使用が可能になりました。

電話は情報発信と収集のために最も身近なものだけに、早期の供用開始が望まれていたものです。

七月十九日から二十日までの連休には道の駅などで携帯電話を使用している人の姿が見受けられました。なお、電波が届く範囲は電波状況もありますが、おおむね上記図面のとおりです。

まつりを通じて地域交流を

永慶保育園・東光苑夏まつり



▲夏の夜のひとときを十分に楽しんだ

まつりを通じて地域との交流を図ろうと、七月二十五日永慶保育園、東光苑合同の夏まつりが東光苑広場を中心に行われました。

園児と入居者によるまんまる音頭を皮きりに、各組ごとの園児ゆうぎ、保育園保護者による演芸が披露されました。特に保護者の演芸は、この日のために何日も準備を重ねていた内容だけに大いに盛り上がりしました。また、特別出演阿部洋二さんの本格的な安来節、木原たけし歌謡ショーなど夏のひとときを楽しみました。

東由利文化クラブ

ありがとうミッシェル先生

「三年間英語指導ありがとうございました。七月十三日、東由利中学校でミッシェル先生の離任式が行われました。小川征司校長、ミッシェル先生の挨拶の後、各学級委員長がクラスで書いた色紙を手渡し、別れを惜しみました。また各小学校でもお別れ会が行われました。

さわやかな印象を残し、次の任地に旅立った先生。三年間英語指導に尽くしていただきありがとうございました。



▲7月7日八塩小でのお別れ会から

◆東由利の文芸◆

(せせらぎ句会・田沢湖吟行)

空と湖分かつたぬ梅雨の巖に立つ
山も湖もわが庭として夏座敷
梅雨雲のかぶさり湖面小皺波
梅雨雲を纏いて駒ヶ岳天に在り
新緑の映えて田沢の湖深し
夏木立湖より青き風生まる
梅雨晴間山影うつし湖しずか
立葉湖が見ゆると咲きのぼる

山崎 高橋 典三
船木 太庭 豊石 門
舟打場 高橋 民治 郎
横小路 宮野 源二 郎
湯出野 小松 徳蔵
中通 小松 順之助
蔵新田 小笠原 亮子
家ノ下 小松 正昭

梅雨吟行方向盤より湖を見る
かたくなに結びし粽膝にとく
梅雨寒や高原の旅山霧の中
御座の石句碑をとりまく夏帽子
幸ありと言ふ万緑の湖畔村
辰子像の渚にただよう落し文
辰子像裸体をかくす夏の霧
田沢湖の湖畔に咲くや栗の花
その奥の御堂に汗の掌を合わす
梅雨の湖ちりめん皺の御座の石
客足も少なき店や栗の花
誰待つや夏雲寄せる朱の鳥居
緑濃きさざ波寄する御座の石

横小路 小松 文介
蔵 阿部 澄子
上里 小野 石路子
五海保 嶽石 レイ
山崎 小松 良子
下小路 小松 メサ
湯出野 佐藤 正義
高戸屋 小松 敏雄
横 渡 高橋 ヒデ子
蔵新田 小野 貞子
蔵新田 小笠原 トミ
小倉 遠藤 トミ子
時雨山 吉川 葉子

町で働く他町村の方紹介



齋藤 恵一さん (47歳)

東由利消防分署勤務 西目町より通勤

「今回九年ぶり二回目の勤務ですが、以前と変わったことは道の駅が出来たことです。また大琴バイパスが出来たことで道路事情がずいぶん良くなったと思います。あとは水がおいしいですね。ポツメキの水は郡内で一番おいしいのではないのでしょうか」

お仕事について教えてください。
「二十四時間勤務の二交代で安全を守っています。この一年、町で火災がなく、主に救急車での活動が多いです。職場は明るく、二十年以上のベテランが多いですが、年を感じさせない人ばかりです」
町の印象を教えてください。
「一年間の無火災と、事故発生時の通報は正確に願います」

「一年間の無火災と、事故発生時の通報は正確に願います」

(株) トーホクの商品

優良県産品に認定

このたび、財団法人秋田県物産振興会より、秋田県優良県産品として、(株) トーホクの商品が認定されました。今回認定された商品は同社で作られた各種弁当箱六品です。



▲今回認定を受けた商品

★アイドルをさがせ!



佐々木友恵ちゃん (1歳)
お父さん: 明さん
お母さん: 節子さん
【新町】

お話し: 節子さん

元気いっぱい、人見知りをせずに迎えてくれた友恵ちゃん。毎日お姉ちゃんの夏美ちゃんと仲良く遊んでいるということでした。

名前の由来は?
「友だちに恵まれるようにお父さんが名付けました」
チャームポイントは?
「なんといっても笑顔です」
好きなものはなんですか?
「アイスクリームと外遊びです。歩きはじめたばかりで外に出たがりますね。足どりがおぼつかなくて転んでばかりいます。あと、お父さんが夕方帰ってくると喜びます」
将来はどんなお子さんに?
「明るく元気に育ってくれたらいいと思います」

童話を

あなたに

子供の将来は子供時代にどのような経験をしたかによって左右されます。遊びを通じて子供はよい経験を積み重ね、物事を成し遂げたという気持ちを味わいます。

この本はそんな遊びのアイデアを二百四十六個選んで作られた本です。
例えばこんな遊び。



子どもと楽しくつきあう
246のあそび
シーラ・エリッソン作

「自然に親しめるところへ散歩に出かけましょう。何か面白いものを見つけたら足をとめて観察してみよう」
あるいはこんな遊び。

バドミントン

新人戦にむけて

下郷分校一年バドミントン部
阿部直子さん、遠藤貴恵さん



私たちがバドミントンを始めたのは、趣味として楽しむ、という気軽な気持ちからでした。でも、練習を続けていくにつれて、バドミントンは遊び心でプレーしては

いけない、ふざけた気持ちでプレーしてはいけないと思うようになりました。

先月の初めに県民体育大会がありました。結果はダブルス二回敗退、シングルスは一回戦敗退でした。けれども、私たちににとっては初めての公式戦だったので、勉強になることが多くありました。フォームやフットワークのこと、日頃から先生が口にしていて、自分が苦しかったら相手を動かさということなど、試合を通して実感することができました。

今の目標はクリアという打ち方で、シャトルを高く遠くに飛ばすことです。この打ち方は、見た目は簡単そうですが、実は難しく、少しでもその技術が向上するように、この夏休みにしっかりと練習したいと思っています。

来る十月の新人戦では、シングルス一回戦突破、ダブルス三回戦進出を目指して頑張っていこうと思っています。

ふるふる むかしむかし

十四

草紙ケ渚の主

むかしむかし、大琴に仁平と与惣次という若者がおりました。仲のよい二人は、川漁が大好きで、夏になると魚を突き刺すやすを片手に川底深くもぐり、岩と岩との間にひそんでいる鯉などをとっているのです。

ある日のこと、仁平は一人で、下吹の藤助渚の深い底にもぐって見ました。なんと驚いたことに、これまで見たことのない大きな鯉が岩はだに身をよせていました。仁平は、一発で仕止めようとやすを突き放したが、一瞬身をかわした大鯉は、渚から跳ね上がり、川下を悠々と泳いでいくのでした。

大鯉に憑かれたように、仁平は夢中になって追い続けました。気づいたら、本荘領の禁漁になっている山内むらはずれに渦巻いている深い深い渚の近く

ペタンクでブロック優勝
七月十四日、あきたスカイドームにおいて第四回秋田県高齢者ベタンク親睦交流大会が開催され、本町東由利Bチーム（メンバー…小野豊二郎、小松清男、阿部喜代松、遠藤武男）が、八十八参加チーム中、みごとブロック優勝に輝きました。この大会は軽スポーツを通じての交流と地域の高齢者とのふれあいの機会を育むことを目的に開催されているものです。選手たちは優勝を喜びあいました。



▲よろこびの東由利Bチーム選手の皆さん

まで追い続けていたのです。大鯉は、その深い渚に逃げ込み、仕止めようと仁平はもぐって見たが、逆に大鯉を見失ってしまいました。残念いっぱいですが家に帰ったその晩のこと、仁平は突然の熱病にうなされ、うわ言に「眼を合わせるな・・・」と何度も繰り返しながら、翌朝あつてなく亡くなってしまったのでした。

仲間の死になげく惣次は、これはきつと大鯉を追いこんだ渚になにかがあると不審に思

い、ある日そつともぐって見ました。幾事も幾事も深く川底にもぐっていくと、洞窟がありました。その暗い洞窟を出ると急に明るくなり、岩の陰からのぞいて見ると、大入道が草紙（書）き物を見ていたのです。

くだんの大入道は、人の気配を感じたのか、大きな眼玉をギョロリと、岩陰の方を見るのでした。その恐ろしい顔に身のすくむ思い



の与惣次です。謎めいた仁平のうわ言を思い出し、急いで深い渚から抜け出し大琴に帰りました。そしてあの大鯉は渚の主に違いないと思つたのでした。こうしたことがあってから、誰れいうとなく草紙ケ渚と呼ぶようになりました。草紙ケ渚にまつわるお話はたくさんありますが、雨が降ると濁流渦巻き、伝説の面影をとどめております。

（文と絵：石渡力造氏）

8月▶データ東由利

〈6/1〜/30〉

住民基本台帳人口 ()は前月比

■男……………2,558人 (△3)
■女……………2,702人 (△4)
■計……………5,260人 (△7)
■世帯数………1,394戸 (△2)

()は1月からの累計

・出生1人(16)・死亡6人(37)
・転入5人(43)・転出7人(100)

■火災出動……………0件 (0)
■救急出動……………8件 (75)
■交通事故……………1件 (3)
・死亡……………0人 (0)
・傷者……………3人 (6)
■飲酒運転……………0人 (1)
■酒気帯び……………0人 (0)

8月の行事予定

1〜10

夏の交通安全県民総ぐるみ運動

- 1 本荘市由利郡消防訓練大会
- 2 道路一斉清掃
- 4 献血 (ルビコン・役場・道の駅)
- 4 ことぶき大学
- 5 議会臨時会

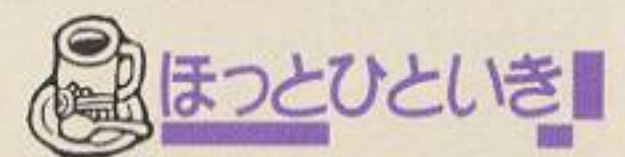
15〜16 町社会人野球大会

15 町成人式 (有隣館)

21 町戦没者追悼式 (有隣館)

23 町スポーツ祭 (ゲートボール)

29〜30 24時間野球大会



8月8日に放送される番組収録に1日おつきあいさせていただきました。普段裏側をのぞくことがないだけに、事前準備、撮影、演出など実に興味深かったでした。

日頃気軽に見るテレビ番組ですが、一人一人の番組に対する真剣な思いが感じられ、充実した仕事をしていると自負しているのだらうなど、うらやましく思いました。

さて、実は私も番組協力しています。カットされなければ温泉場面で見られるでしょう。どんな協力をしたかは見てのお楽しみ(さ)

東由利

郷土の野草

NO.161

コウホネ

(スイレン科)



日本全土、朝鮮の沼や水辺に生える多年草で、水気さえ切らさなければ、水たまりのような環境でも花や葉を鑑賞できます。根は白色で太く横に這い、葉は根茎から出て葉柄がある緑色で卵形、または長卵形で先が二つに分かれ光沢があります。六月から九月に花柄をたて、三から五センチの黄色の花を一個上向きにつけます。萼片が五個で、包みこむような花は風情があります。和名は「河骨」で、河に生える根が白色で骨のような草ということでこの名があります。

文・写真 小松忠正氏

広報クイズ

問・着々と進む八塩地区整備事業。あなたが期待する計画内容は?。はがきに期待している内容、住所、氏名、年齢、広報の感想などを書いて、締切は八月三十一日です。前回の回答は「プール規模二十五メートル、六コース、総建築面積九三九平方メートル。移動式上屋を備えています」等です。先月号は工藤寛之さん(新町)、畠山タツさん(茂沢)が当選しました。



東光苑主任
高橋育子 (松柴)

東光苑新職員紹介

よろしくお願ひします

●ごめい福をお祈りいたします

●お誕生おめでとう

畠山 愛望さん (銅) 蔵
眞理

(6月21日〜7月20日届出)

戸籍の窓口

町の宝もの

第76回

八塩いこいの森の名称

八塩ダムの完工通水は昭和三十七年、周辺一帯は田代・石高地区の入会草地として活用してまいりました。



この草地に桜やつつじを植栽し、ダム周辺の環境や水面に映える景観など将来展望の話が、当時の阿部直一郎村長を中心に昭和四十年頃具休化、翌四十一年四月に桜千本、つつじ五百本植えました。いこいの森の歩みは、昭和四十七年八塩等風致整備事業、同四十九年いこいの森の歩み

森造成事業を二三・七三ヘクタール、休憩所、展望台、水香場、トイレを設置しました。同五十年八塩等風致整備事業、同五十九年いこいの森管理事業、同五十九年から六十四年までふれあいの森事業が行われ、平成元年から二年に野鳥の家を建築。「八塩いこいの森」の正式名称は昭和六十年の第一回黄桜まつりから呼ぶようになりました。

ここで、来年五月中旬に第五十回秋田県植樹祭が行われます。(文・畑山昭二)